

出雲崎町ハザードマップ

～危険箇所を知り、危険を回避する～

Ver.2

海あり山ありの風光明媚な町、出雲崎。
自然は、大いなる恵みとともに、時には一瞬にして人命や大切な財産を奪う土砂災害や津波などの試練を与えます。
まさかにも備え、正しい知識や危険箇所を把握し、災害に備えて、避難場所、避難経路等について、普段から家族で話し合っておくことが重要です。



このハザードマップの土砂災害危険箇所につきましては、県が、一定の基準に沿って土砂災害の危険性が高い地域を調査したものであるため、土砂災害の発生場所や規模を特定するものではなく、この範囲外で土砂災害が発生する場合もあります。土砂災害防止法の指定により作成した「土砂災害(特別)警戒区域ハザードマップ」と併せてご活用ください。
また、津波浸水想定区域につきましては、県が、平成25年度に発表した津波浸水想定区域で20cm以上浸水すると想定されるラインを記載しました。



お問い合わせ電話番号
出雲崎町総務課 ☎0258-78-2290(直通)

平成28年3月作成

緊急連絡先

火事・救急		119
事件・事故		110
海上における事件・事故		118
消 防	柏崎市消防本部・消防署	0257-24-1500
	柏崎市消防署出雲崎分遣所	78-2576
	柏崎市消防署出動状況音声ガイド	0257-22-1200
警 察	与板警察署	72-0110
	与板警察署 出雲崎駐在所	78-2042
	与板警察署 川西駐在所	78-3900
出雲崎町	総務課(災害対策本部事務局)	78-2290
	建設課(上下水道)	78-2296
国道116号維持管理	国土交通省長岡国道事務所	36-4551
国道352・402号、県道	与板維持管理事務所維持管理課	72-3185
電 気	東北電力(株)コールセンター	0120-175-366
電 車	東日本旅客鉄道(株)コールセンター	050-2016-1600
	東日本旅客鉄道(株)ホームページ	http://www.jreast.co.jp/info/contact.html
バ ス	越後交通(株)柏崎営業所	0257-23-5250

災害時の声の伝言板 NTT災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音方法 171

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外番号からダイヤルしてください。

① ※電話番号を利用する録音
② ※電話番号を利用する再生
③ ※電話番号を利用する録音
④ ※電話番号を利用する再生

録音 (30秒以内でお話ください)

再生

伝言の再生方法 171

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外番号からダイヤルしてください。

① ※電話番号を利用する録音
② ※電話番号を利用する再生
③ ※電話番号を利用する録音
④ ※電話番号を利用する再生

録音 (30秒以内でお話ください)

再生

※伝言は被災地の電話番号を掛けているすべての方が聞けます。聞かれにくいメッセージを録音する場合は、あらかじめ電話番号をきめておく必要があります。

避難心得6か条

被害に遭わないためには、危険から逃げることです。危険が迫った時は「まだ大丈夫だろう」と思うのではなく、「危ない! 避難するぞ! 」と周りの人にも避難をうながしましょう。なにより「自分の命は自分で守る」心構えが一番大切です。

- まずは、自宅の危険性を知る**
自宅の立地状況や過去の災害状況、このハザードマップなどを参考に、自宅もしくは周辺にどのような危険性があるか、孤立する可能性があるかなどを把握しましょう。
- 最新の情報を入手する**
テレビ、ラジオ、防災行政無線などから気象・防災情報を入手し、今後の気象状況の把握や早めの避難準備をしましょう。防災行政無線の戸別受信機は、時報での受信確認や乾電池の交換など、日頃から各世帯でしっかりと管理しておいてください。
- 早めの避難を心がける**
町は、避難準備情報とともに避難所を開設しますので、早めの自主避難を心がけてください。また、避難準備情報が発表される前でも危険を感じたら、町に連絡して自主避難してください。なお、自主避難の際、食事、寝具及び着替え等はできるだけ各自で準備してください。
- 単独行動は慎みましょう**
大雨や突風などの中での避難は、危険が伴います。避難することが困難な方などを支援し、複数で状況に注意しながら避難しましょう。
- 命を守る行動を!**
大雨や突風で避難所まで避難することが危険な場合、自宅に流入してきた土砂などに巻き込まれないよう2階へ避難したり、近隣の安全な建物へ一時的に避難させてもらうなど、その場でできる「命を守る行動」をとってください。
- 6 家族で事前の話し合いを**
災害時は、家族の安否が気になります。日頃から、家族別々での取るべき行動、連絡方法、集合場所などを話し合っておきましょう。

避難情報の種類・伝達

土砂災害避難情報の種類・基準

種類	解 説	避難情報を出す基準	
		昼夜問わず	おおむね7時～21時の間
避難指示	近隣で災害が発生し、いつ災害に巻き込まれてもおかしくない場合に発令します。 ①特別警戒情報が発表されたとき ②土砂災害警戒情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が積算雨量300mmかつ時間雨量10mm以上に達したとき ③巡視等により人家への被害が発生したとき	土砂災害警戒情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量40mm又は積算雨量200mmかつ時間雨量10mm以上に達し、3時間以降の予測雨量が積算雨量300mmかつ時間雨量10mm以上に達すると予想される時	土砂災害警戒情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量30mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上に達し、3時間以降の予測雨量が時間雨量40mm又は積算雨量200mmかつ時間雨量10mm以上になると予想される時
避難勧告	近隣で災害の前兆現象がみられ、危険が高まった場合に発令します。 自宅が危険と感じたら、速やかに避難を開始してください。 また、避難が困難な場合は、命を守る行動をとってください。 ①土砂災害警戒情報が発表されたとき ②3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量40mm又は積算雨量200mmかつ時間雨量10mm以上に達したとき ③巡視等により土砂災害の前兆現象が発見されたとき	土砂災害前ぶれ注意情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量30mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上に達し、3時間以降の予測雨量が時間雨量40mm又は積算雨量200mmかつ時間雨量10mm以上になると予想される時	大雨警戒情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量20mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上に達し、3時間以降の予測雨量が時間雨量30mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上になると予想される時
避難準備情報	このまま推移すると災害が発生する危険性が高いと判断した場合に発令します。 町は、この段階で指定避難所を開設しますので、避難行動要支援者や自宅待機が不安な方などは早めの自主避難をお願いします。	土砂災害前ぶれ注意情報が発表されたとき	大雨警戒情報が発表され、3時間先までの雨量の予測又は実測値が時間雨量20mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上に達し、3時間以降の予測雨量が時間雨量30mm又は積算雨量100mmかつ時間雨量10mm以上になると予想される時

避難情報の伝達手段

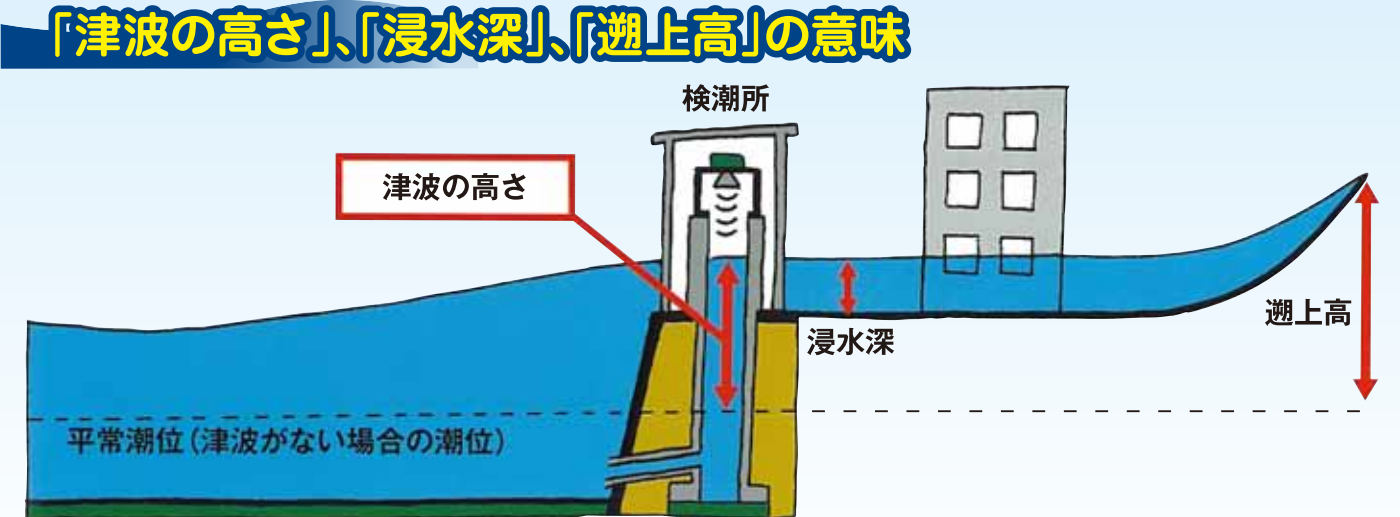
① 屋外及び各世帯に配布してある防災行政無線
② 広報車
③ 緊急速報メール
④ 情報メール配信サービス「住民安全さんとう」
⑤ ホームページ
⑥ ラジオ・テレビ

「住民安全さんとう」登録方法
登録はカンタンです
1. 下記の要領で空メールを送る
2. 登録作業
3. 登録完了

避難情報は昼夜を問わず伝達します!

津波から身を守るために

出雲崎町は、約10kmの海岸線を有し、常に津波の危険性にさらされていると言えます。津波は、地震発生後、あっという間にやってくる場合があります。海の近くにいる時に強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じたら、津波警報の有無に関わらず、一刻も早くその場を離れてください。
避難は「速く」よりも「高く」を意識し、なるべく高い所(高台や建物の上階)へ避難しましょう。津波は繰り返し襲ってきます。警報・注意報が解除されるまで、海岸に近づかないようにしましょう。



津波の特徴

- 津波の速さはジェット機並み
- 津波の高さは想像以上
- 浅いところほど大きくなる
- 引き潮がなくてもくる
- 遡上する
- 2波3波と繰り返す

津波に対する心得

- 強い地震(震度4程度以上)を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸や河川から離れ、急いでできるだけ高い所に避難する。
- 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海岸や河川から離れ、急いでできるだけ高い所に避難する。注意報でも海岸付近から避難する。
- 海や河川に様子を見に行かない。
- 避難の際に川沿いの道や橋を通ることは避ける。
- 原則として車で避難することは控える。渋滞に巻き込まれ、避難が困難になる場合がある。
- 船に乗っているときはあわてて港に戻らず、沖合へ向かう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	巨大 10m超 (10m<予想高さ) 10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m)
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	高い 3m (1m<予想高さ≤3m)
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	表記しない 1m (0.2m<予想高さ≤1m)

※マグニチュードが8を超えるような巨大地震に対しては、最初、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。その後、正確な規模の観測が分かった場合、予想される津波の高さを数値で発表します。

覚えておこう! 津波避難3原則

- 一、想定を信じるな
今来る津波が、想定通りの地震、津波とは限りません。浸水想定ラインより外の地域でも絶対安全とは言えません。
- 一、最善を尽くせ
津波に巻き込まれたら、まず助からないと考えよう。「自然は如何なることもあり得る」と考え、一刻も早く、できる限り高く、そして速くへ逃げるのが大切です。
- 一、率先避難者たれ
いざ地震が起こったとき、自分が最初に避難するためには、知識と勇気が必要です。自分が最初に逃げるのが、周りの多くの人を助けることにつながります。

土砂災害とは

土石流

●大雨などによって、山の岩や土砂が自動車並みの速度で谷を流れ下る現象です。
●流木が混ざるとさらに破壊力を増し、人家や橋などを破壊します。

がけ崩れ

●大雨や地震などによって、斜面がゆるんで一気に崩れ落ちる現象です。
●突然起こるため、被害が人命に及びやすいのが特徴です。

土砂災害の前兆現象を知ろう

土砂災害の前には、次のような現象が起こることがあります。

大雨や長雨時、雪どけ時期は要注意!

地滑りの前兆

- 地面にひび割れやくぼみ、盛り上がりが見えたり、水が湧き出た時
- 池や沼の水の量が急に変わった時、木がさかたり根が切れる音がした時
- 井戸水が濁った時

土石流の前兆

- 山崩れといって山全体がうなり、流木が混ざっているような音がする時
- 川の流が濁ったり、流木が混ざっている時
- 雨が続けているのに、川の音が濁っている時

がけ崩れの前兆

- がけから小石がバラバラと落ちてきた時
- がけに割れ目が見えたり、土が落ちてきた時
- がけから水が湧き出てきた時

前兆現象を見つけたら...

- すぐに安全な場所へ避難してください。
- 町、消防、警察への連絡をお願いします。

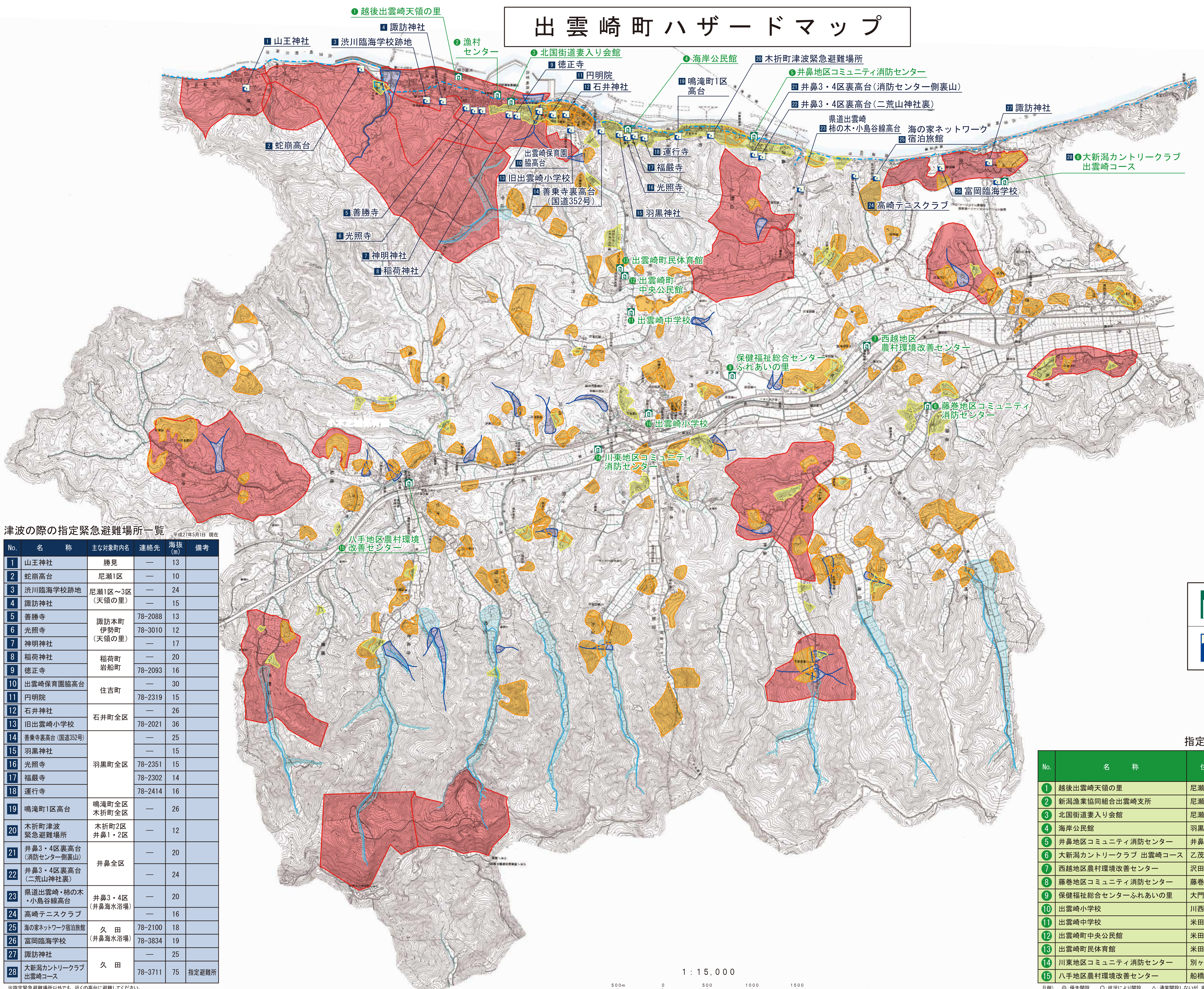
●役に立つホームページ

新潟県土砂災害警戒情報システム
新潟 土砂 検索

新潟県防災ポータル
新潟 防災 検索

新潟県土砂災害警戒情報システムでは、土砂災害危険度の高まりを色でわかりやすく表現しているよ。

出雲崎町ハザードマップ



凡 例	
	土石流 土・石・砂などが集中豪雨などの多量の水とまじりあって、津波のように流れ出てくるのが土石流です。
	がけ崩れ 雨により地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。
	山崩れ 雨による地表面流下水の集中や地下水などの影響により、山腹の土砂や岩石が崩れ落ちるのが山崩れです。
	地すべり 粘土などのすべりやすい層に地下水が作用し、上側の地面がそっくり落ちるのが地すべりです。
	崩壊土砂流出危険地区 山崩れや地すべりによって発生した土砂が、土石流となって流出する危険性のある地区のことです。
	津波浸水想定ライン 20cm以上浸水すると想定されるラインです。ただし、これ以上の浸水も十分考えられますので、津波のおそれがある場合はすぐに高台に避難してください。

津波の際の指定緊急避難場所一覧

No.	名 称	主な対象町内名	連絡先	海拔(m)	備考
1	山王神社	勝見	—	13	
2	蛇崩高台	尼瀬1区	—	10	
3	洪川臨海学校跡地	尼瀬1区～3区(天領の里)	—	24	
4	諏訪神社	—	—	15	
5	善勝寺	諏訪本町	78-2088	13	
6	光照寺	伊勢町(天領の里)	78-3010	12	
7	神明神社	—	—	17	
8	稲荷神社	稲荷町	—	20	
9	徳正寺	岩船町	78-2093	16	
10	出雲崎保育園高台	住吉町	—	30	
11	円明院	—	78-2319	15	
12	石井神社	—	—	26	
13	旧出雲崎小学校	石井町全区	78-2021	36	
14	善養寺裏高台(国道352号)	—	—	25	
15	羽黒神社	—	—	15	
16	光照寺	羽黒町全区	78-2351	15	
17	福厳寺	—	78-2302	14	
18	運行寺	—	78-2414	16	
19	鳴滝町1区高台	鳴滝町全区 木折町全区	—	26	
20	木折町津波緊急避難場所	木折町2区 井鼻1・2区	—	12	
21	井鼻3・4区裏高台(消防センター側裏山)	井鼻全区	—	20	
22	井鼻3・4区裏高台(二荒山神社裏)	—	—	24	
23	県道出雲崎・柿の木・小島谷線高台	井鼻3・4区(井鼻海水浴場)	—	20	
24	高崎テニスクラブ	—	—	16	
25	海の家ネットワーク宿泊旅館	久 田	78-2100	18	
26	富岡臨海学校	(井鼻海水浴場)	78-3834	19	
27	諏訪神社	—	—	25	
28	大新潟カントリークラブ出雲崎コース	久 田	78-3711	75	指定避難所

※指定緊急避難場所以外でも、近くの高台に避難してください。

	緑：指定避難所
	青：津波の際の指定緊急避難場所

指定避難所一覧

No.	名 称	住 所	連絡先	避難所種別				収容人員	備 考
				風水害	地震	原子力	福祉避難所		
1	越後出雲崎天領の里	尼瀬6-57	78-4000	○				36	
2	新潟漁業協同組合出雲崎支所	尼瀬無番地	78-3161	○				78	未耐震化
3	北国街道妻入り会館	尼瀬166	78-3700	◎				28	
4	海岸公民館	羽黒町431-1	78-2015	◎	△			128	海拔8m
5	井鼻地区コミュニティ消防センター	井鼻682	—	○				26	
6	大新潟カントリークラブ 出雲崎コース	乙茂588甲	78-3711	○	○			170	※緊急避難場所を兼ねる
7	西越地区農村環境改善センター	沢田439-1	78-2280	◎	◎	◎		156	
8	藤巻地区コミュニティ消防センター	藤巻300	—	○	○			30	
9	保健福祉総合センターふれあいの里	大門394-1	41-7133	○	○	◎	○	56 228	ポランテアセンター ※原子力災害時
10	出雲崎小学校	川西12	78-2205	△	△	△		470	
11	出雲崎中学校	米田745	78-2137	△	△	△		608	
12	出雲崎町中央公民館	米田281-1	78-2250	◎	◎	◎		252	
13	出雲崎町民体育館	米田281-1	78-4700	○	○	○		598	
14	川東地区コミュニティ消防センター	別ヶ谷500-30	—	○	○			44	
15	八手地区農村環境改善センター	船橋473甲	78-3211	◎	◎	◎		184	

凡例) ◎: 優先開設 ○: 状況により開設 △: 通常開設しないが、場合により開設も有りうる

